1　国語

学校番号	T2101

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現ａ※	単位数	2	年次	3
使用教科書	国語表現　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会で必要な「書いて伝えるために必要な知識・力」を学びます。
・原稿用紙の使い方や、要約についての授業をします。
・会話の練習やペアワークを行います。表現をすることでコミュニケーションの力を伸ばしましょう。
・小テストを行うことがあります。必ず出席と予習をして、小テストに臨みましょう。
・板書や発表の際は積極的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

・会話練習やワークを通して、自らの意見を適切かつ効果的に伝えあうことができる。
・データの読み方や要約の方法を学び、思考力を深めている。
・文章の書き方や敬語の学習を通して、適切な言語表現を行うことができる。
・朗読を行うことで言語感覚を磨き、社会生活の向上につなげることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	意見を論理的に判断・展開している。相手の立場や異なる考え方を尊重しようとする。	話題や題材に応じて効果的に話している。的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめている。	相手や目的、意図に応じて言葉遣いや文体などの表現を工夫し、文章を書いている。		表現の特色や言語の役割等について理解を深めている。相手や場に応じた表現をするための知識を身につけている。
評価方法	記述の確認（ワークシート）行動の観察（ペアワーク、発表）	行動の観察（スピーチ、会話練習、ペアワーク、グループワーク等）	記述の確認（ワークシート、原稿用紙）定期考査		記述の確認（ワークシート）定期考査小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(後期も同様)	視写・原稿用紙の使い方	【基礎編】 教科書の文章を、速く正確に原稿用紙に書き写す。 教材: 「言葉に変える」 ワークシート	○		◎		○	a:意義を理解し、意味を考えながら文章を写している。 c:誤字・脱字・句読点に気をつけて正確に書いている。 e:原稿用紙の正しい使い方について理解している。	a:記述の確認 c、e:記述の確認及び定期考査
	聴写・メモの取り方	【基礎編】 ニュース等の音声を使い聴写する。 教材: 「言葉に変える」 ワークシート	○		◎		○	a:メモの目的を理解している。また、間違いがあった際はなぜ間違えたかを理解している。 c:必要な情報を判断し、速く書き取ることができている。 e:メモを取るポイントを理解している。	a、c、e:記述の確認
	絵を言葉にする	【基礎編】 抽象的な絵等を言葉で説明して、具体的で正確に説明・表現する方法を学ぶ。 教材: 「言葉に変える」 ワークシート	○		◎		○	a:適切な説明のしかたを考え、伝えようとしている。 c:キーワード等を活用し、わかりやすく説明できている。 e:説明する際に必要なキーワードの選び方等を理解している。	a:行動の観察と確認 c、e:記述の確認

	効果的な説明の方法	【基礎編】 聴き取った話を、わかりやすい説明になるよう書きあらわすことで、説明する方法を考える。 教材: 「文章表現の基礎」 ワークシート	○		◎		○	a:書いた文章をペアで見せ合い、互いに良いところを挙げている。 b:例文の不適切な点を理解し、適切な文章で表現できている。 e:わかりやすく書く際に必要な、適切な書き方と不適切な書き方の違いを理解している。	a:行動の観察と確認 c、e:記述の確認及び定期考査
	相手の話を聴く・相手に伝える	【基礎編】 ペアでそれぞれが話した内容をもとにメモを取り合い評価する。 教材: 「言葉に変える」 ワークシート	○	◎			○	a:ペアワークを積極的に行っている。 b:お互いにメモした内容を伝え合い、講評できている。 e:線を引く、キーワードを見つけるなど、メモを取る際に必要なポイントを学ぶ。	a、b:行動の観察と確認 e:記述の確認
	声の表現・スピーチ	【基礎編】 一分程度のスピーチを行う。 教材: 「声の表現」 ワークシート	○	◎			○	a:意欲的にスピーチを行っている。 b:一分間の時間を守り、論理的にスピーチ発表ができている。 e:文の係り受けなどを理解し、文章の校正ができる。	a、b:行動の観察と確認 e:記述の確認及びて
	漢字と語彙	【基礎編】 六書や漢語の特徴を学び、部首の意味や漢字の読み方・書き方について理解する。 教材: 「漢字と語彙」 ワークシート	○		◎		○	a:漢語の特徴について、他の表現をふまえながら学ぶことで、語彙を増やそうとしている。 c:正確且つ丁寧に漢字や部首が書けている。 e:六書や漢語の役割・特徴を理解している。	a:行動の観察と確認 c、e:記述の確認及び定期考査

	図表・グラフを読む	【実践編】 グラフや図などのデータから情報を読み取り、それを文章化する。 教材: 「小論文Ⅱ」 ワークシート	○				○	a:読み取ったデータをもとに、自分ならデータの中から何を主張するか考えられる。 d:データを正確に読み取ることができている。また、読み取ったデータについて考察できる。 e:項目や数字など、データを記載した資料の読み方の要点を理解している。	a:行動の観察と確認及び記述の確認 d、e:記述の確認及び定期考査
	待遇表現(敬語)	【基礎編】 尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いや、人間関係による表現の仕方の違いを学ぶ。 教材: 「人とつながる言葉」	○	◎			○	a:敬語を正しく用いて、会話をしたりメールを書いている。 b:シチュエーションにあわせて正確に敬語を用いたやりとりができる。 e:尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いについて理解している。	a:行動の観察と確認及び提出物 b、e:記述の確認及び定期考査
	意見と根拠・小論文の基本	【実践編】 小論文の基本的な形を学び、自分の意見を整理する。 教材: 「小論文Ⅰ」 ワークシート	○		◎		○	a:提示された論題に対し、積極的に自分の意見を反映させながらセルフディベートができる。 c:主張や根拠を、明確且つ論理的に書き表せる。 e:文章の型など、論理的に書くための知識について理解している。	a:行動の観察と確認 c、e:記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力

e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。